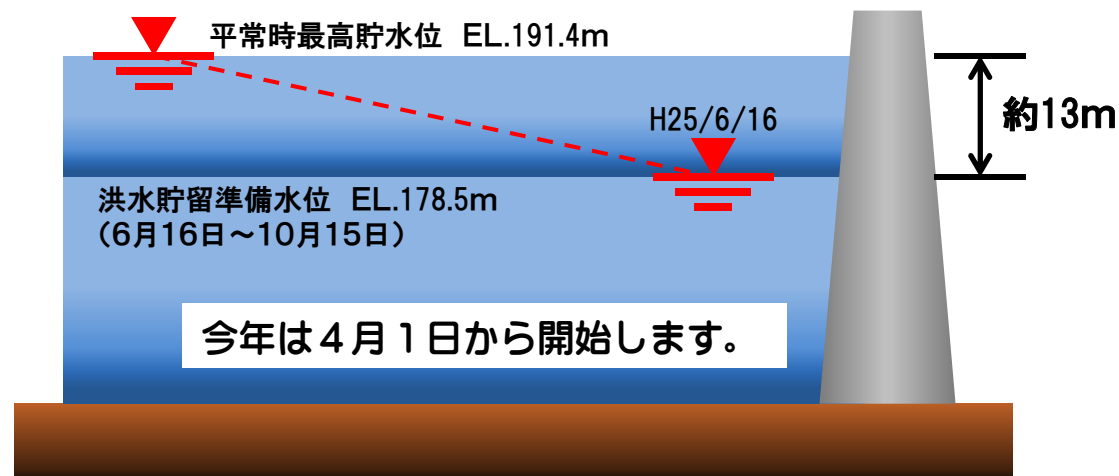


洪水期に向けてダム貯水位移行の実施

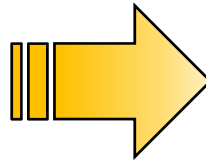
日吉ダムでは、洪水期（6月16日～10月15日）に備えて、「洪水貯留準備水位」までダムの貯水位を低下させていく操作（ドローダウン）を4月1日から開始します。

日吉ダムは、洪水期の大雨に備える準備として、洪水貯留容量を4,200万 m^3 （京セラドーム大阪35杯分）まで増やす必要があります。そのため、通常の放流量に毎秒約1.5～5 m^3/s を上乗せして放流し、徐々にダムの貯水位を低下させて、6月16日までに約13mも下げていきます。

この期間は、まとまった雨が降ったときなどしか見られない、利水放流設備（分岐管バルブや主管バルブ）からの放流を見る機会が増えます。



3月29日の日吉ダム貯水池状況



6月16日の日吉ダム貯水池状況(イメージ)